

ガスふろがま (取替型)

取扱説明書

保証書付



品 名	型 式 名
GF-A550SC	GF-A550SC

このたびはガスふろがまをお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分理解したうえで正しくご使用ください。

この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

内容をよくご確認ください。

この機器は取替専用型ですので、新築等の浴室には設置することはできません。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、弊社窓口へご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。



もくじ

ページ

安全に正しくお使いいただくために……………	1
この取扱説明書の表示について……………	1
絵表示について……………	1
機器本体の表示について……………	1
必ずお守りください……………	2
各部の名称とはたらき……………	6
機器本体……………	6
操作パネル……………	6

ご利用前の準備……………	7
機器の準備……………	7
上がり湯やシャワーを使用するには……………	8
口火を点火する……………	8
上がり湯やシャワーでお湯を使用する……………	9
追いだき(おふろ沸かし)をするには……………	11
追いだき(おふろ沸かし)をする……………	11

冬期の凍結予防をするには……………	12
通水による方法……………	12
機器の水を抜く方法……………	13
再使用するとき……………	14
凍結したときは……………	14
点検のポイント・お手入れのしかた……………	15
点検のポイント(月1回程度)……………	15
お手入れのしかた(こまめに掃除)……………	15
定期点検のおすすめ(有料)……………	16
乾電池の交換のしかた……………	17
故障かな?と思ったら……………	18
次のことを調べましょう……………	18
こんな場合は故障ではありません……………	19
アラームについて……………	20
アフターサービスについて……………	21
仕様……………	22
保証書……………	裏表紙

お使いいただく前に

使いかた

長くお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき、万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い

ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX)

参照ページを示しています。

■絵表示について



一般的な禁止



火気禁止



接触禁止



分解禁止



必ず行う

■機器本体の表示について

使用上の注意

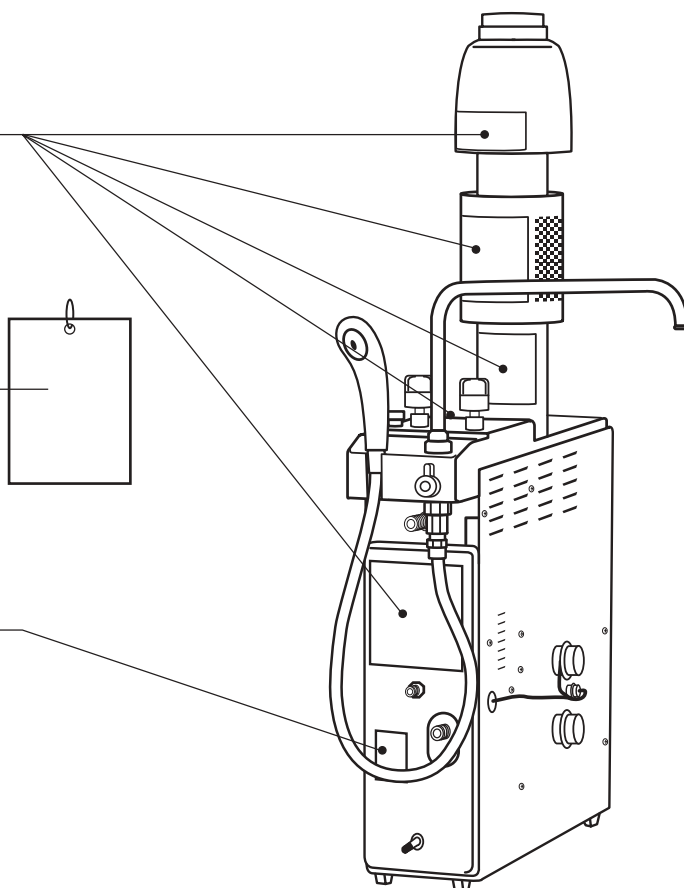
- 使用上の注意、取扱い方法について表示しています。

安全にご使用いただくために(別添シート)

- 使用上の注意や一部のアラーム表示について説明をしています。
取扱説明書と同梱されていますので、浴室内でご使用ください。

銘板

- 品名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



⚠ ご注意ください

- 取扱説明書と同梱されているシート「安全にご使用いただくために」は、ふろがま本体や排気筒などに取り付けないでください。

⚠ 危険

ガス漏れに気づいたときは

- ①すぐに使用をやめて、ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
- ②窓や戸を開けガスを外に出す。
- ③お買い上げの販売店または最寄りのガス事業者に連絡する。

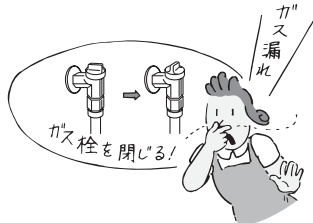
すべての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話を使用しない

炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



火気禁止



禁止

⚠ 警告

屋外に設置しない（浴室設置形）

- 風により炎が機器の外にあふれて火災のおそれがあります。また雨水の浸入や炎が風にあおられて故障の原因になります。

機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または弊社窓口へ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

増改築などで排気筒トップを屋内状態にしない

- 設置後、排気筒トップを波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

給排気口の前方に物を置いたり洗濯物でおおわない

- 不完全燃焼や火災のおそれがあります。

浴室の排水口のお手入れ

- 浴室の排水口はこまめに掃除する。排水口が詰まると、機器内に水が浸入して、点火の際に炎があふれ火災や機器が損傷するおそれがあります。



掃除をする

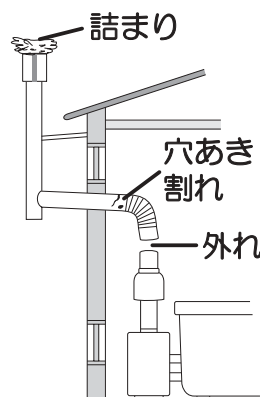


換気注意

- 機器の使用中は室内のレンジフード・換気扇を使用しない。排気ガスが逆流して室内に入り、一酸化炭素中毒になる危険があります。
- 給気口・換気口は常に確保し、物などで塞がない。不完全燃焼の原因となります。

排気筒トップの定期点検

- 排気筒（トップ）が外れたり、変形・破損・詰まりなどがないか定期点検を行う。異常なまま使用すると、排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因となり危険です。



改造・分解禁止

- 絶対に改造・分解は行わない。改造・分解は一酸化炭素中毒などの事故や火災・故障の原因となります。



分解禁止

機器の銘板を確認

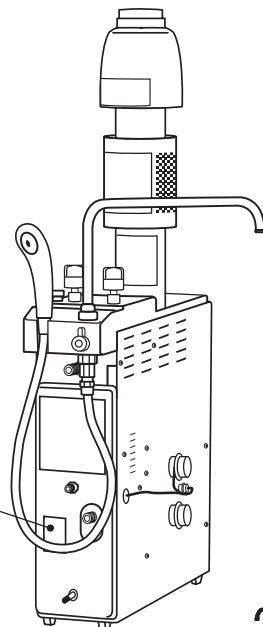
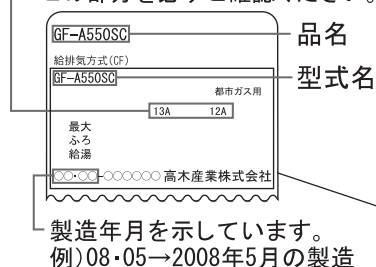
- 機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）で機器を使用してください。ガス種が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。
- 転居時の注意は（→P. 21）



ガス種を確認

（例：都市ガス12A・13A）

この部分を必ずご確認ください。



必ずお守りください

警告

シャワー・給湯使用時、入浴時の注意

- シャワーなどお湯を使う場合は、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。
- 次のような場合には一瞬熱いお湯が出ることもあるので、出始めのお湯は体にかけない。
 - ・お湯を再使用するとき
 - ・高温のお湯を使った直後
 - ・お湯の量を急に少なくしたとき
 - ・夏期など水温の高い時期に少量のお湯を使おうとしたとき
 - ・給水圧が下がったとき
 - ・長時間の追いだき直後
 - ・機器が故障したとき
- シャワー・給湯使用中に、使用者以外はお湯の温度を変更しない。
- シャワーホースが折れ曲がるなどしたまま、シャワーを使用しない。
- 給湯使用時は上り湯パイプに触らない。
- 特に小さなお子様一人では、お湯を使わせない。
- お風呂を沸かした後は上下に温度差があるので、よくかきまぜて、手でお湯の温度を確認してから入浴する。
- お風呂沸かし（沸かし直し）や追いだき時には、循環口付近は熱くなることがあるので触らない。

思わぬ事故や、やけどのおそれがあります



追いだきの消し忘れをしない

- お風呂を沸かしすぎた場合は、蒸気によりやけどのおそれがあります。浴室に入るときや浴槽のふたを開けるときは十分注意する。また、浴槽のお湯が熱い間は絶対に手や体を入れない。やけどのおそれがあります。

お子様には十分な注意を

- 浴槽の湯（水）に潜ったり、浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。
- 浴槽のふたの上に乗ったり、手をついたりしない。思わぬ事故につながる可能性があります。



機器本体やガスの接続部などに乗らない

- けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

ガス接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取外しおよび付帯工事の際には、必ずお買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。

火災予防のために必ず守ること

- 火をつけたままの就寝や外出は絶対にしない。火災の原因となります。
- 排気筒の周辺には紙や木材・洗濯物など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器の周辺では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



異常時の処置について

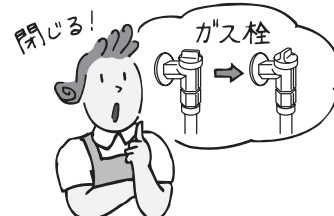
- 地震・火災などの緊急時の場合は速やかに使用を中止し、ガス栓を閉じる。
- 使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合

- ①ただちに使用をやめて、ガス栓を閉じる。
- ②「故障かな?と思ったら」(→P. 18~20)に従って処置をする。

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または弊社窓口へ連絡する。



ガス栓を閉じる



必ずお守りください

警告

つまみはマークに合わせて使用する

- 点火つまみやシャワー・上り湯切替つまみはマークの位置に合わせて使用する。マーク以外の位置で使用すると、熱いお湯が出たり異常着火により機器が変形し、排気が漏れる場合があります。変形した場合はすぐに使用を中止し、修理を依頼してください。そのまま使用すると一酸化炭素中毒の原因となります。

注意

用途についての注意

- 一般家庭での上り湯・シャワー等の給湯やお風呂沸かし以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる場合があります。

ソーラー接続禁止

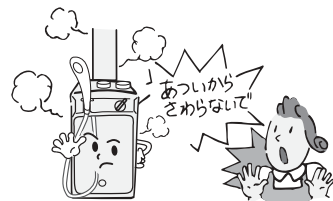
- ソーラー機器とは絶対に接続しない。ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをするおそれがあります。

排気筒や機器本体の高温部に触れない

- 使用中または使用後しばらくは、機器操作部以外は触らない。また、機器と浴槽（または壁）との間に絶対手を差し込まない。やけどのおそれがあります。

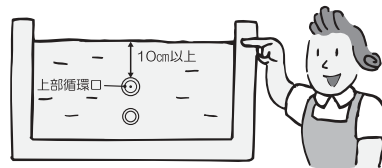


接触禁止



空だき防止

- 追いだき（お風呂沸かし）の際は、必ず浴槽の上部循環口より上に10cm以上湯（水）が入っていることを確かめる。水位が低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷、火災の原因となることがあります。



上部循環口より上に10cm以上お湯があることを**チェック!**

お願い

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」（→P. 12）に従って処置してください。
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。
- 凍結したときは解凍するまで待ち、機器および配管から水漏れがないことを確認後、「機器の準備」（→P. 7）の操作を行ってください。

出湯の注意

- 上り湯パイプにホースを接続して他所へ給湯しないでください。設定温度が出なくて、やけどや水漏れの原因になります。

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることを点火確認ランプで確認してください。
- 使用後、または就寝や外出するときは、必ずガス栓を閉じてください。

消火時の注意

- 燃焼中に、ガス栓を操作しての消火はしないでください。また、乾電池を抜いての消火もおやめください。

特監法対象機器

- この機器は、法的資格を有する者以外は設置または移設できません。また、機器に下のようなシールが貼付してあるか確認してください。シールが貼られていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示	
工事事業者の氏名 又は名称及び連絡先	TEL
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び 施工年月日	年 月 日

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。

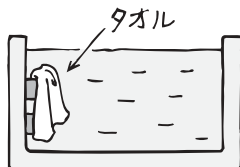
お願い

入浴時の注意

- 浴槽の循環口をタオルなどで塞がないでください。循環不良によりお風呂沸かしができなくなったり、機器の故障原因になります。



禁止



- 湯止めキャップを外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。

機器に水をかけない

- 機器にむやみに水をかけないでください。故障の原因になります。

飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水や断水復帰後の水は、飲用に使用せずに、雑用水としてお使いください。

長期間使用しないときは

- 「機器の水を抜く方法」(→P. 13)に従って、水抜きを行ってください。水が長い間流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。

- 電池ケースから乾電池を抜いてください。



日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。(→P. 15)
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 浴槽が水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯あか)により、青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等で拭き取ってください。

地下水や井戸水、温泉水の注意

- この機器は上水用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴が開くなど耐久性を損なう場合や機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸・強アルカリの洗剤および、硫黄・酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確認し機器への悪影響がないものをご使用ください。
- 塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤・洗濯排水・消臭剤または塩などが機器本体やガス管にかかった場合は、すぐに水洗いをしてください。
- ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、ふろ配管内にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 薬草やゆず入り入浴剤の場合は、薬草などが機器内部に詰まることがありますので、ご使用を避けてください。



禁止



乾電池に関する注意

- 乾電池の入れ方を間違えたり、新しいものと古いもの、また、違う種類のををまぜて使用したりしないでください。寿命が短くなったり、液漏れすることがあります。

用途についての注意

- 本製品は家庭用です。業務用にお使いになると著しく寿命が短くなることがあります。

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃烧音など)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)

排気ガス

- 増改築時には排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気筒トップの周囲には、排気ガスによって加熱されて困るもの(植物・ペットなど)を置かないでください。

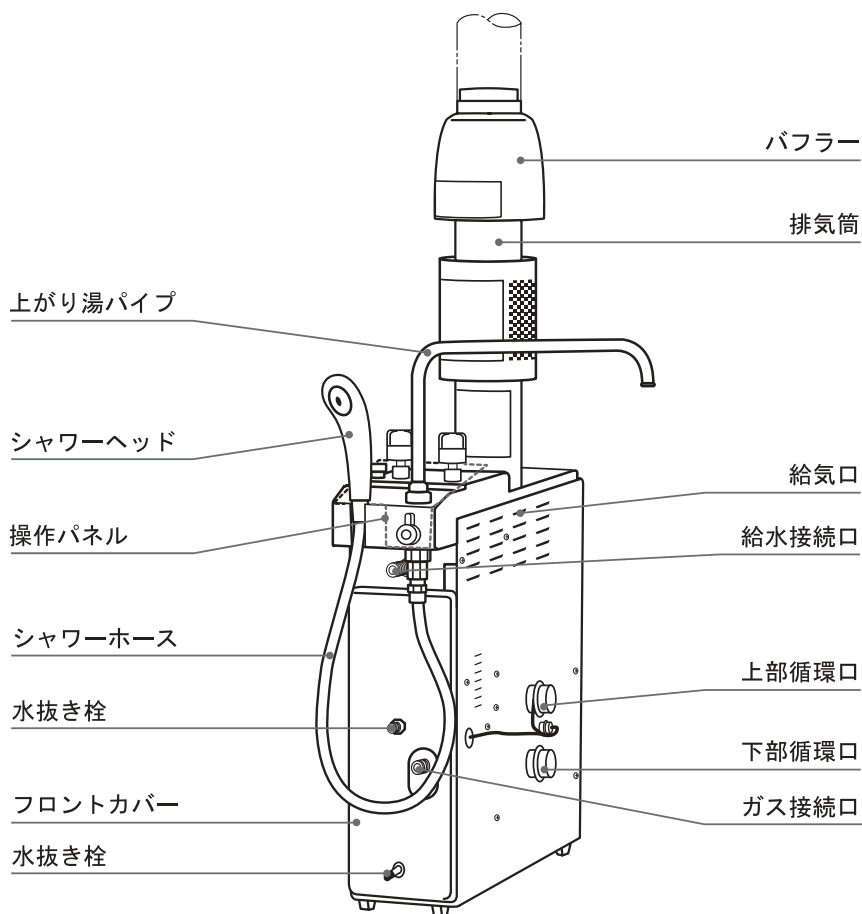
給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

各部の名称とはたらき

■機器本体

この機器には右がまタイプと左がまタイプがあり、下図は右がまタイプです。
左がまタイプは、循環口が下図とは逆の、向かって左側にあります。



■操作パネル

電池交換ランプ(緑)

電池の交換時期を点滅でお知らせします。(→P. 17)

点火確認ランプ(赤)

点火したことを点灯でお知らせします。

湯温調節つまみ

シャワーや上り湯を使用するときの温度を調節します。

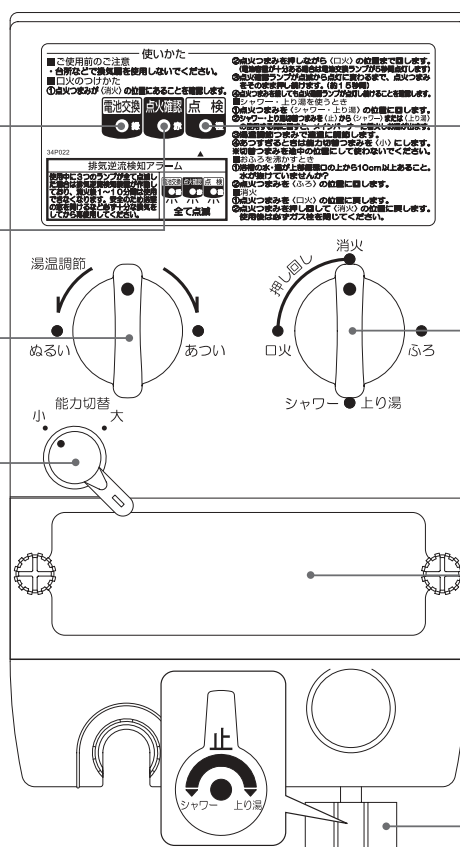
能力切替つまみ

温度調節つまみで温度を調節しても適温にならないときに、能力を調節します。(→P. 10)

点検ランプ(橙)

機器の点検時期を点灯でお知らせします。(→P. 16)
また、機器の異常を点滅でお知らせします。(→P. 20)

点火つまみ



シャワー・上り湯切替つまみ

シャワーや上り湯を使用するときに使います

ご利用前の準備

■機器の準備

初めてお使いになるときは、まず浴室内にある機器の準備をします。

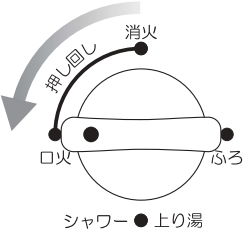
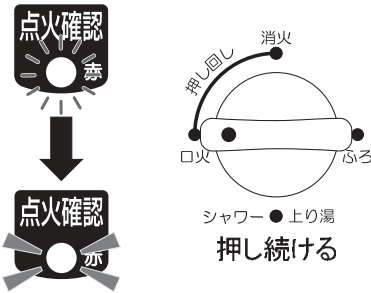
操 作	説 明
1 機器や機器周辺の点検・確認を行います	点検のポイント (→P. 15) をご覧ください。
2 シャワー・上り湯切替つまみを止の位置に合わせます	機器の前面にあります。
3 給水元栓を全開にします	機器の周辺にあります。
4 シャワー・上り湯切替つまみを上り湯側に回し、上がり湯パイプから水の出ることを確認します	水が出ることを確認したら、止めます。
5 点火つまみが消火の位置にあることを確認してガス栓を開けます	点火つまみが消火の位置にあるか確認します。

上がり湯やシャワーを使用するには

お湯を使用するときは、毎回以下のことを確認してください。

- シャワー・上り湯切替つまみが止の位置にあることを確認。
- 点火つまみが消火の位置にあることを確認。
- 脱衣室や台所の換気扇が「切」になっていることを確認。
※換気扇の使用はあふれサーミスタ作動（→P. 20）の原因となります。

■口火を点火する

操 作	説 明
1 点火つまみを押しながら □火の位置まで回します 	“カチン”と音がするまで押し回します。 ※電池容量が十分ある場合は電池交換ランプが約5秒間点灯します。
2 点火確認ランプが点滅から点灯に変わるまで、 点火つまみを約15秒間 そのまま押し続けます 	点火確認ランプが点滅から点灯に変わります。
3 点火つまみを離しても、 点火確認ランプが点灯し 続けていることを確認しま す 	消えてしまう場合は5分後に1の操作からやり直します。

△注意 ●上がり湯やシャワーを使うときは、浴槽の下部循環口より上に湯（水）を入れた状態で使う。
機器が破損する原因となります。

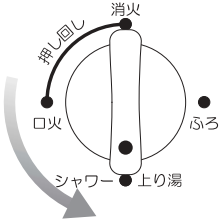
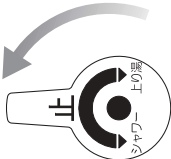
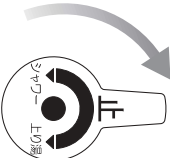
- 点火操作を行っても点火しないとき、また途中で消火したときは使用をやめ、5分後に再度点火操作を行う。点火操作を何回も繰り返すと機器内に放出したガスに異常な着火をして大変危険です。それでも点火しないときは、使用をやめてお買い上げの販売店、または弊社窓口へ点検を依頼してください。



- 初めてお使いになるときや長時間使用していなかった場合などは、配管内に空気がたまっていることがあり、口火が点火しづらい場合があります。

上がり湯やシャワーを使用するには

■上がり湯やシャワーでお湯を使用する

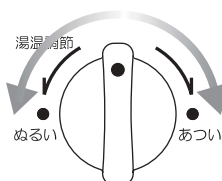
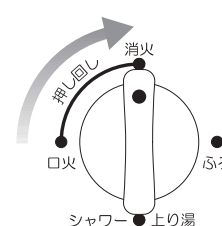
操 作	説 明
1 点火確認ランプが消えていないことを確認します 	点火確認ランプが消えている場合は、5分程待ってから口火を点火する(→P. 8)の操作を行ってください。
2 点火つまみをシャワー・上り湯の位置まで回します 	
3 シャワー・上り湯切替つまみを、上り湯側かシャワー側へ回します 【シャワーを使う】 シャワー・上り湯切替つまみを、シャワー側へ回します シャワーヘッドからお湯が出ます  【上がり湯を使う・浴槽へお湯をためる】 シャワー・上り湯切替つまみを、上り湯側へ回します 上り湯パイプからお湯が出ます 	※浴槽へお湯をためる場合は、浴槽の排水栓がしてあることを確認します。 

長時間の追いだき直後は、シャワーから熱いお湯(80℃以上)が出るのを防ぐため、自動的にお湯が止まる場合があります。以下の方法で再使用できます。

- 1** シャワー・上り湯切替つまみを上り湯の位置へ回し、上がり湯パイプからお湯を出します。このとき湯温調節つまみをぬるいの位置に合わせ、ぬるいお湯になるまで熱いお湯を流し出します。
△注意 ● 熱いお湯が出るため、体にかからないよう注意する。やけどのおそれがあります。
- 2** お湯がぬるくなったことを確認して、シャワー・上り湯切替つまみをシャワーの位置へ回します。湯温調節つまみでシャワー温度をお好みの温度に調節してください。
お願い ● 通常のシャワー使用において、頻繁にお湯が止まるときは機器の故障の場合がありますので、使用をやめて点検を依頼してください。

△警告 ● 上がり湯・シャワーを使うときは、必ず手でお湯の温度を確かめてから使用する。確認を怠るとやけどのおそれがあります。
 ● 浴槽にお湯張りしているときは、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。

上がり湯やシャワーを使用するには

操 作	説 明
4 お湯の温度を湯温調節つまみを回して調節します 	左に回すとお湯がぬるくなります。 右に回すとお湯があつくなります。
湯温調節つまみで調節しても適温にならない場合は 夏期水温が高いときや水圧が低い地域では、湯温調節つまみをぬるいにしてもお湯が熱い場合があります。このようなときは能力切替つまみで湯温を調節します。 能力<大> 小 能力切替 大  通常はこの位置で使用してください。 ➡ 能力<小> 小 能力切替 大  湯温調節つまみをぬるいにしても熱すぎるときに使用してください。 ⚠注意 ●能力切替つまみは大 または小 にきちんと合わせて使用する。 途中の位置で使用しないでください。	
5 お湯を止めるときはシャワー・上り湯切替つまみを止の位置に合わせますバーナーが消火します 	
6 すぐに使用しないときはシャワー点火つまみを□火 の位置まで回し、□火 から押しながら消火の位置まで戻します 	口火を消すことでガスの無駄が少なくなります。

- ⚠警告** ●お湯を使用している本人以外はお湯の温度を変えない。また、体にお湯を浴びたままお湯の温度を変えない。お湯の温度を変えたときは必ず手でお湯の温度を確かめてから使用する。
- お湯を一度止めて再使用するときは、一瞬熱いお湯が出ることがあるので注意する。
 - 長時間の追いだき直後や口火を長時間点火しているときにシャワー・上り湯切替つまみを開けると熱いお湯が出ることがあるので注意する。
 - 使用後、または就寝や外出するときは、必ず点火つまみを消火の位置に戻す。怠ると火災の原因となります。

⚠ご注意ください

- 夏期など水温が高くなると、低い温度に設定しても、熱い湯が出ることがあります。
- 電池交換・点火確認・点検のランプが同時に点滅し機器が自動消火するのは、あふれサーミスタが作動したためで、機器の故障ではありません。(→P. 20)



追いだき(おふろ沸かし)をするには

追いだき(おふろ沸かし)をするときは、毎回以下のことを確認してください。

- 上部循環口より10cm以上お湯(水)が入っていることを確認。
- 脱衣室や台所の換気扇が「切」になっていることを確認。
※換気扇の使用はあふれサーミスタ作動(→P. 20)の原因となります。

浴槽にお湯張りをしたあと湯温がぬるい場合は追いだきをしてください。

■追いだき(おふろ沸かし)をする

操 作	説 明
準備	●上部循環口より10cm以上お湯(水)が入っていることを確認します。 ●入浴前に沸かす場合は、浴槽のふたがしてあることも確認します。
1 点火つまみが口火の位置にあり点火確認ランプが消えていないことを確認します	●口火を点火していない場合は、口火を点火する(→P. 8)の操作を行ってください。
2 点火つまみをふろの位置に合わせます	
3 おふろが沸き上がったら点火つまみを口火の位置まで戻します 使用後・就寝・外出のときには点火つまみを消火の位置まで戻し、ガス栓を閉めます	

- ⚠警告** ●おふろを沸かしているときは、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。
- 入浴時には十分かきまぜて、必ず手で湯温を確かめてから入浴する。追いだき中や追いだき後は、浴槽の湯の上部は熱くなっているため、やけどのおそれがあります。
 - 使用後、または就寝や外出するときは、必ず点火つまみを消火の位置に戻す。怠ると火災の原因となります。

- ⚠注意** ●追いだき(おふろ沸かし)の際は、必ず浴槽の上部循環口より上に10cm以上湯(水)が入っていることを確かめる。水位が低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の破損、火災などのおそれがあります。

- ✖モ** ●おふろ沸かしは水から沸かすより、お湯張りをしてから追いだきを行った方が、時間がかからず経済的です。
- 電池交換・点火確認・点検のランプが同時に点滅し機器が自動消火するのは、あふれサーミスタが作動したためで、機器の故障ではありません。(→P. 20)

冬期の凍結予防をするには



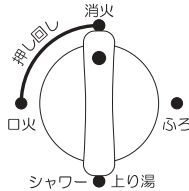
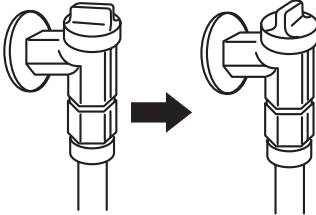
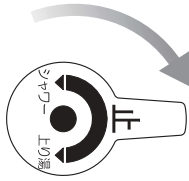
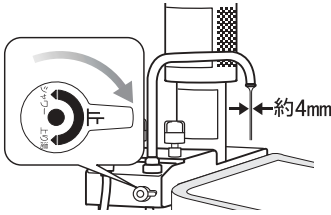
注意

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

冬期には機器や配管内の水が凍結して、機器が破損することがあります。凍結のおそれがあるときや長期間使用しないときは以下のいずれかの方法で凍結を予防してください。

■通水による方法

この方法は本体だけでなく、給水配管、バルブ類の凍結も予防できます。

操 作	説 明
準備 浴槽の排水栓を抜き、浴槽内の湯（水）を完全に排水します 	● ご注意ください ● 浴槽内に湯（水）が残っていると凍結することがあります。
1 点火つまみが消火の位置にあることを確認します 	必ず確認します。
2 ガス栓を閉じます 	
3 シャワー・上り湯切替つまみを上り湯側へ回します 	
4 上がり湯パイプから1 分間に約400 cc程度の水を浴槽に流し続けます 流量は給水元栓で調節します 	流量が不安定なことがありますので、念のため約30 分後に流量を確認してください。

お願い

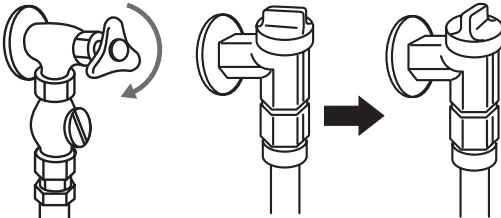
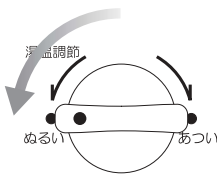
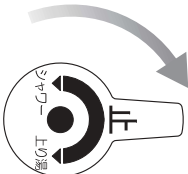
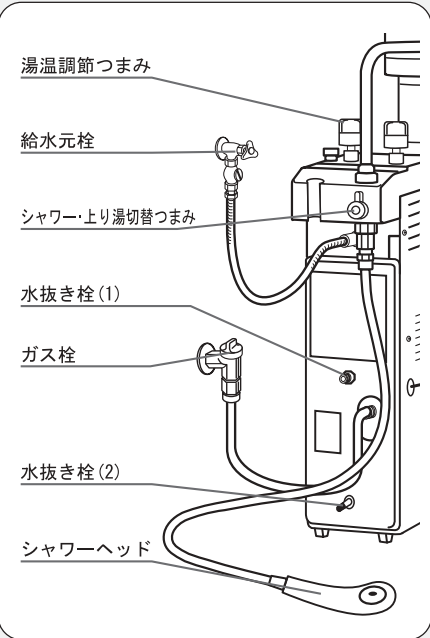
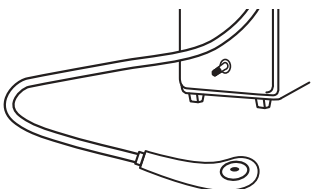
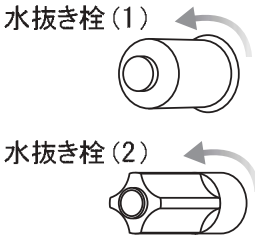
- 通水による方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防の為に水を流していることを、お知らせください。水を止めると凍結します。

冬期の凍結を予防するには

■機器の水を抜く方法

長期間使用しないときは機器の水を抜く方法で凍結を予防してください。
図は右がまタイプで説明します。

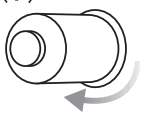
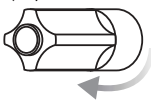
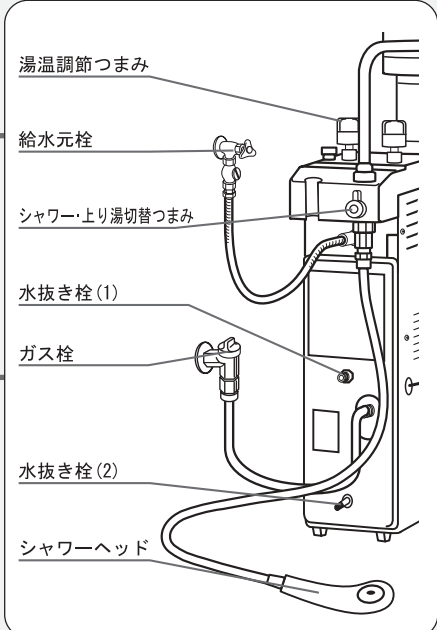
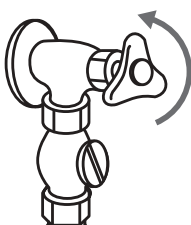
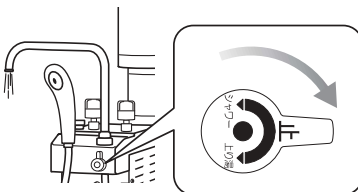
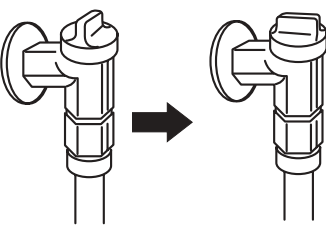
⚠注意 ●使用後すぐに水抜きをしない。機器やお湯が高温になっていることがありますので、やけどのおそれがあります。冷えてから行ってください。

操 作	説 明
1 ガス栓・給水元栓を閉じます 	必ず閉じます。
2 湯温調節つまみをぬるいの位置に合わせます 	
3 シャワー・上り湯切替つまみを上り湯側へ回します 	
4 シャワーヘッドを床においてシャワーホース内の水を抜きます 	
5 水抜き栓(1)(2)を外し、水が出ることを確認します 	
6 浴槽の排水栓を抜き、浴槽内の湯(水)を完全に排水します 	再び使用するまで、そのままにしておきます。

お願い ●次に使用されるまでそのままにしておいてください。
●機器内の凍結は予防できても給水配管の凍結予防はできませんので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。

冬期の凍結予防をするには

■再使用するとき

操 作	説 明
1 すべての水抜き栓を閉じます 水抜き栓 (1)  水抜き栓 (2)  	確実に閉じていることを確認します。
2 シャワー・上り湯切替つまみを止へ回します 	
3 給水元栓を開けます 	
4 シャワー・上り湯切替つまみを上り湯側へ回し上がり湯パイプから水が出ることを確認します 	水が出ることを確認したら、止めます。
5 ガス栓を開けます 	機器を使用できます。

お願い ●再使用するときは、水抜き栓が確実に閉じていることを確認してください。

■凍結したときは

□凍結したときはガス栓・給水元栓を閉じ、使用しないでください。凍結したままで使用すると、機器や配管が破損することがあります。

点火つまみを消火にし、シャワー・上り湯切替つまみを上り湯側へ回したとき水が出て、止にしたとき水漏れがなければ使用できます。

□解凍するまで待つて、水漏れのないことを確認のうえご使用ください。

■点検のポイント(月1回程度)

次の9つのポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気がしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、および排気筒トップのそばに燃えやすいものはありませんか？
また、整然とされていますか？
機器のまわりが雑然としていると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
- 6 排気筒・排気筒トップに損傷や詰まり・外れているところはありませんか？
- 7 強化ガスホースが傷んでいませんか？
ときどき点検して、早めに交換を依頼してください。
- 8 浴室の排水口が詰まっていますか？
排水口が詰まると、機器内に水が浸入して、点火の際に炎があられ火災や機器が損傷するおそれがあります。
- 9 積雪や屋根から落ちた雪により、排気筒トップが塞がれていませんか？
排気筒トップが塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には排気筒トップの点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気筒トップを塞ぐおそれがあるときはお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

！ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、機器が冷えてから行ってください。
また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。

■お手入れのしかた(こまめに掃除)

機器外装のお手入れ

- 汚れは、湿ったやわらかい布で軽く拭き取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変色・変形する場合があります。
- 機器の点火つまみの部分には、できるだけ湯・水がかからないようにしてください。



⚠️ 注意 ●フロントカバーを外したり、分解したりしない。

- 故障または破損したと思われるときは使用しない。このときお客様ご自身で修理なさらずに、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

お願い

- 洗剤およびシンナー・ベンジンなどでは拭かないでください。
- 機器にキズがつきますので、たわしやブラシなど固いものでこすらないでください。
- 機器本体はステンレスですが、錆びることがあります。ヘアピンや金属片を置かないでください。

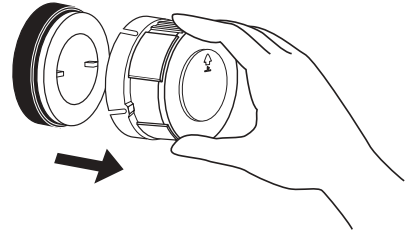


点検のポイント・お手入れのしかた

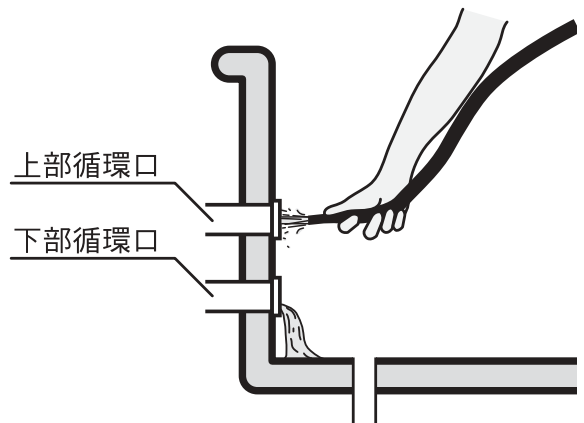
ふろがま内のお手入れ

ふろがま内部に湯あかなどがたまってくると、沸き上がり時間が長くなったり、沸き上がる前に消火することがあります。こまめにふろがま内部の洗浄を行ってください。

- 1 上部循環口の湯止めキャップを外します

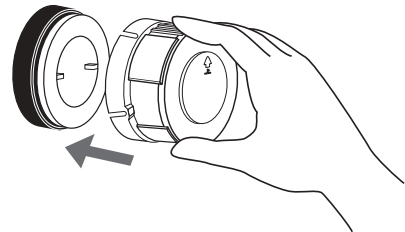


- 2 循環口へ水道からのホースを近づけ、先をつまんで勢いよく水を出します



- 3 上部・下部循環口を交互に数回水洗いします

- 4 上部循環口の湯止めキャップを元通りに取り付けます



浴室内のお手入れ

- 浴室の排水口をよく掃除して、排水が十分行えるようにし、ふろがまの底部が水につからないようにしてください。
- 浴室に洗濯機等の排水をされる場合は、排水が直接ふろがまにかからないように注意してください。
- 浴室内は湿気が多いため、機器を使用していないときは、浴室の窓などを開け換気をよくしてください。

■定期点検のおすすめ(有料)

- 機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度の点検を受けることをおすすめします。点検はお買い上げの販売店または、弊社窓口へご相談ください。
- 点検ランプが点灯したときはお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

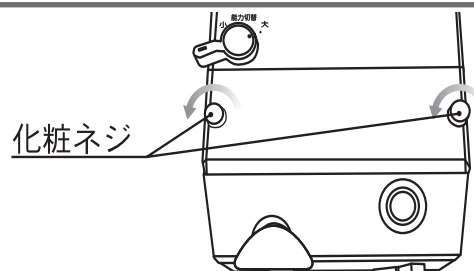
点検のポイント・お手入れのしかた

■乾電池の交換のしかた

電池交換ランプが点滅したり、全く点灯しない場合は、電池の寿命が考えられます。以下の要領で、乾電池の交換を行ってください。

1

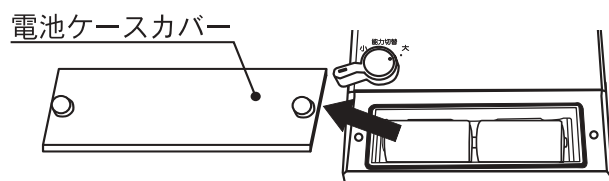
化粧ネジをゆるめます



2

電池ケースカバーを外します

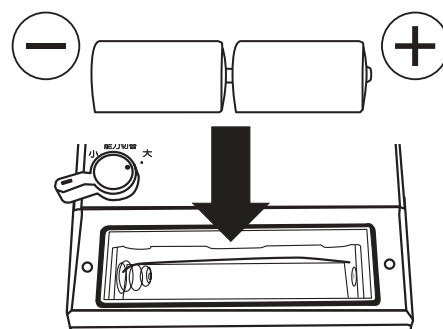
カバーを外すときは、能力切替つまみに
気をつけて外してください



3

2個とも新しい単一形(1.5V)アルカリ乾電池に交換します

2個とも同じ種類のアルカリ乾電池を使用し、
⊕と⊖を間違えずに入れてください

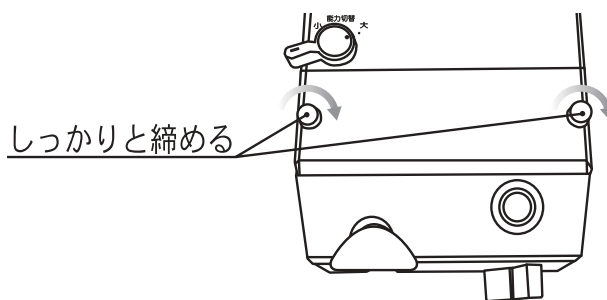


4

乾電池交換後、電池ケースカバーを
取り付け、化粧ネジをしっかりと締めます

⚠注意

化粧ネジをしっかりと締めないと機器内に水が
浸入して、機器の故障の原因になります。
化粧ネジは確実に締めてください。



お願い

- 乾電池は破裂・液漏れを起こすことがあります。下記の点に注意してお取扱ってください。
 - ・ 2個とも同じ種類の新しいアルカリ乾電池を使用してください。
 - ・ 使用済みの乾電池は、分解・加熱・火の中に投げ込んだりしないでください。
 - ・ 長期不在等長く機器を使用しない場合は、乾電池を機器から抜いてください。
- 乾電池の寿命は通常で約1年くらいを目安としてください。付属の乾電池は工場出荷時のものですので、多少早めに交換が必要な場合があります。

故障かな?と思ったら

■次のことを調べましょう

こんなとき

ここを調べてください

口火が点火しない
使用中に消火した

ガス栓が全開になっていますか (→P.7)
口火が点火しない場合、**点火つまみ**を十分下まで押し回していますか (→P.8)
電池が切れていませんか
ガスメーターの安全装置（マイコンメーター）のランプが点灯していませんか
マイコンメーターを復帰させてください。
わからないときは、最寄りのガス事業者へご相談ください。
プロパンガス(LPG)がなくなっていないですか
プロパンガス(LPG)の補充を最寄りのガス事業者へ依頼してください。

点火確認ランプが点灯し続けない

電池が切れていませんか
“カチン”と音がしてから 15 秒程押し続けますか (→P.8)
点火つまみを十分下まで押し回していますか (→P.8)

上がり湯パイプ・シャワーヘッドからお湯が出ない
(給湯側バーナーに着火しない)

ガス栓が全開になっていますか (→P.7)
点火つまみをシャワー●上り湯まで回していますか (→P.9)
給水元栓が全開になっていますか (→P.7)

高温のお湯が出ない
低温のお湯が出ない

ガス栓が全開になっていますか (→P.7)
湯温調節つまみの設定は適切ですか (→P.10)
能力切替つまみの設定は適切ですか (→P.10)

おふろが沸かない
(ふろ側バーナーに着火しない)

ガス栓が全開になっていますか (→P.7)
点火つまみをふろまで回していますか (→P.11)

かま鳴りがする
(ボコン・ボコンと音がして、循環口より大きな気泡が出る)

ふろがま全体が傾いていませんか
ふろがまの循環パイプと浴槽側の循環口が、ずれていませんか
お買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください

※水圧が極端に低い場合では、**能力切替つまみ**を小・**湯温調節つまみ**をぬるいにしても熱いお湯が出ることがあります。このような場合は水道工事店へ給水設備の改善を依頼してください。

長くお使いいただくために

故障かな?と思ったら

■こんな場合は故障ではありません

現象	点検項目
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いとき低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い全く無害なものです。
点火または消火後機器からポコンと音がする	機器の側板・天板などが熱によって膨張・収縮するとおこる音です。
お風呂を沸かしているとき、機器よりジュ・ジュと音がする	浴槽の水が冷たい場合、機器内の結露水が遮熱板に落下して蒸発するときの音で機器の故障・異常ではありません。
寒い日に排気筒トップから湯気が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白く見える現象で、故障ではありません。
長期間使用していなかった後、口火になかなか点火しない	長期間使用しなかったために強化ガスホース内に空気が入り込んでいるためです。点火操作を繰り返してください。 それでも点火しないときは、ガス事業者(供給業者)へ依頼してください。
浴槽が青く見える	湯アカが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。
シャワーが口火燃烧しているときやふろ沸かし中に、上がり湯パイプ・シャワーヘッドから水が出ることがある	機器内部の膨張した水が出るため、水漏れではありません。
シャワーのお湯が止まる	長時間追いだきした直後は、シャワーから熱いお湯(80℃以上)が出るのを防ぐため、出湯を自動的に停止することがあります。(→P.9)
電池交換・点火確認・点検のランプが同時に点滅し自動消火する	施工上の問題や機器の使用中に換気扇を使用したなどの問題により、あふれサーミスタが作動したためです。

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときは
お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

故障かな?と思ったら

■アラームについて

この機器にはアラームモニター（自己診断）機能が付いています。機器に不具合が生じると電池交換・点火確認・点検のランプでお知らせします。下記のアラーム表をご覧ください。適切な処置を行ってください。修理の依頼およびアラームについてご不明の場合はお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

【アラーム表】

ランプの状態			内 容	処 置
電池交換	点火確認	点 検		
—	—	1回点滅	着火ミス 失火	点火つまみを消火の位置に戻し、5分後再点火。
—	—	連続3回点滅	給湯熱交サーミスタ作動 ふろ熱交サーミスタ作動 給換気口閉塞検知	点火つまみを消火の位置に戻し、浴室の給気口・換気口が塞がれていないことを確認し、10分以上の換気後、再点火。 点検ランプが点滅している間は、機器の使用はできません。
—	—	連続4回点滅	あふれサーミスタ断線・短絡 給湯熱交サーミスタ断線・短絡 ふろ熱交サーミスタ断線・短絡	修理を依頼する。
—	—	連続5回点滅	サーモカップル回路異常	
—	—	連続6回点滅	EEPROM異常	
—	—	点灯	製品点検	点検を依頼する。
点滅	—	—	電池交換間近	早めに電池を交換する。
口火点火時に点灯しない			電池切れ	新しい電池に交換する。
			電池が入っていない	
全点滅			あふれサーミスタ作動	点火つまみを消火の位置に戻し、10分以上の換気後、再点火。 ランプが点滅している間は、機器の使用はできません。
全点灯			インターロック	修理を依頼する。

あふれサーミスタ（排気逆流検知装置） 浴室内への燃焼排気ガスの逆流を検知する装置です。



あふれサーミスタ作動について

あふれサーミスタが作動すると、機器は自動消火し、アラームを表示します。機器の故障ではありません。

このアラームが発生した場合は、窓などを開け、浴室内の換気を十分に行ってください。

機器の使用中は、脱衣室や台所の換気扇を使用すると、排気逆流の原因となりますので、必ず「切」にしてください。

また、換気扇を使用していない場合でも度々アラームが発生する場合には、排気筒の不備が考えられますので、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

再使用禁止装置（インターロック）

安全装置が作動しても原因を解決しないまま繰り返し使用すると作動します。インターロックが作動すると、機器を使用することができません。

警告 ●窓などを開け、浴室内の換気を十分に行い、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P. 18~20)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、お客様ご自身で修理なさらないで買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2) 品名:GF-A550SC(ガスの種類:例えば13A)
 - (3) お買い上げ日(保証書をご覧ください)
 - (4) 現象(故障または異常内容などできるだけ詳しく)
 - (5) 訪問ご希望日

※弊社窓口は、商品保証書の下段をご参照ください。

保証について

- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証書に記載されている保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後7年です。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、改造・調整の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居・移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または弊社窓口へお問い合わせください。

※弊社窓口は、商品保証書の下段をご参照ください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓・給水元栓を閉じます。
 - (2) 乾電池を取り外します。
 - (3) 機器の水抜きを行います。(→P. 13)

〔仕様表〕

項	目	内容
品	名	GF-A550SC
型	式 名	GF-A550SC
外形寸法(mm)/質量(kg)		幅175×奥行655×高さ1248/17
点	火 方 式	圧電点火
水	使 用 水 圧	100～500kPa(1.0～5.0kgf/cm ²)
圧	最 低 作 動 水 圧	50kPa(0.5kgf/cm ²)
接	ガ ス	15A(R1/2)TU接続
続	給 水	15A(R1/2)オネジ
	循 環 パ イ プ	φ45mm(外径):GL180mm-100mmピッチ
電	源	DC3V(単一形アルカリ乾電池×2)
材	本 体 外 装	ステンレス鋼板 溶融亜鉛メッキ鋼板(粉体焼付塗装)
質	排 気 部	溶融亜鉛メッキ鋼板(耐熱塗装)
	熱 交 換 器	給湯:脱酸銅 ふろ:ステンレス鋼板
	バ ー ナ ー	ステンレス鋼板
安	全 装 置	空だき安全装置 立消え安全装置 排気逆流検知装置 熱交閉塞検知装置 過熱防止装置 過圧防止安全装置 熱湯遮断弁 給換気口閉塞検知装置

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量 kW{kcal/h}		出湯能力(最大時) ℓ/分		沸き上がり時間(浴槽水量:180ℓ) 分			ガス接続
		給 湯	ふ ろ	水温+25℃ 上昇	水温+40℃ 上昇	春・秋 (15→40℃)	夏 (25→40℃)	冬 (5→40℃)	
都市ガス	13A	12.8{11,000}	10.5{9,000}	5.5	3.4	43	26	60	15A(R1/2) TU 接続
	12A	12.1{10,400}	9.77{8,400}	5.1	3.2	46	28	64	
L P ガス		12.7{0.91kg/h}	9.94{0.71kg/h}	5.5	3.4	45	27	63	

◎ガス: JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧100kPa{1.0kgf/cm²}のとき。

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

ガスふろがま

パーパス 商品保証書

品名 GF-A550SC

お買い上げ日		年	月	日	保証期間	1ヶ年
お客様	ご住所					
	ご芳名	TEL				様
販売店	住所 店名	TEL				⑧

お客様へ

●この保証書をお受取りになるときに販売年月日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

●本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はおお客様の通常のご使用により万一故障した場合には、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

- (1) 保証期間は上記品名の機器をお買い上げの日から表記の期間とし機器本体を対象とします。
- (2) 万一故障の場合はお買い上げの販売店、または弊社修理受付センターへお申し出ください。原則として出張修理をいたします。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合、出張に要する実費を申し受けます。
- (3) サービス員が参上したときに本証書をお示しください。紛失されますと有料修理となる場合があります。
- (4) 保証期間中でありましても次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 当製品の取扱説明書、又は貼付ラベル等のご案内によらないでご使用になり故障した場合。
 - (ロ) 当製品の工事説明書によらないで施工されたり、専門業者以外による修理、移動、改造等を行ったことにより故障した場合。
 - (ハ) 設置環境の経年変化に伴う故障。及び塗装の色褪せ・摩擦等により生ずる機能に影響ない変化。
 - (ニ) 海岸付近・温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する機能に影響ない変化。
 - (ホ) ねずみ・くも等の生物活動に起因する故障。
 - (ヘ) 住宅用途以外(例えば業務用・船舶・車両上でのご使用)にてご使用された場合の故障。
 - (ト) 火災・地震・洪水・落雷等の天変地異・凍結。又は暴動等の破壊行為による故障。
 - (チ) ガス・給水の供給トラブルによる故障。
 - (リ) 熱量変更、又は移動等に伴う調整・確認作業。
 - (ヌ) 給水・給湯配管の錆び等異物混入による故障。
 - (ル) 温泉水・井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水をご使用になったことによる故障。
 - (ヲ) 排水不良等による機器の冠水等に起因する故障。
- (5) 本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- (6) この保証書によって保証書を発行している者、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- (7) 商品や修理以外のお問い合わせ等はお買い上げの販売店、または弊社お客様相談室へお問い合わせください。

高木産業株式会社

〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田201

弊社窓口

修理受付センター（修理受付のみ）

TEL 0120-260-884（通話料金無料）

携帯電話からは 03-5682-4545 へおかけください。

受付時間：年中無休 24時間修理受付

お客様相談室（商品や修理以外のお問い合わせ等）

TEL 0545-32-1389

受付時間 平日 9:00～19:00
土曜日・日曜日・祝日 9:00～17:00

ご連絡いただいた個人情報は、弊社規定によりお問い合わせ対応に必要な範囲内で使用します。お問い合わせ内容につきましては、個人を特定できないデータに加工した後、サービス向上等のために利用いたします。